

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

### 事業名 **新**農作業分業化プロジェクト推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 野菜係 電話番号：058-272-1111 (内 2867)

E-mail: [c11423@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11423@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 3,011 千円 (前年度予算額： 0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,011	0	0	0	0	0	0	0	3,011
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ほうれんそうやいちご等の施設園芸産地では高齢化による廃業が、新規参入者を上回り、産地の規模が縮小している。新規参入や規模拡大を進めるためには、収穫調製作業のような短期間に人数を要する作業や、種まき前の天井ビニール張りや土壌消毒のような重労働、農業の律速段階となっている工程の解消が必要である。

しかし、産地内では作業の集中により労働力需要が高まり、農業者だけでは解決できない。そこで、民間企業を中心とした外部委託を活用することで、課題の解決を図る。

### (2) 事業内容

#### 【事業概要】

生産拡大に伴い生じる重労働等の外部委託に係る経費の助成  
外部委託実施による経営への影響の評価

#### 【事業目的】

ほうれんそう・いちご・枝豆等の生産量の維持・拡大

### (3) 県負担・補助率の考え方

野菜の産地は複数の市町村にまたがる広域的な取り組みであることから、県の財政負担は妥当

1 / 2 以内

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	3,011	経営拡大により生じる重労働の外部委託に係る経費の助成
合計	3,011	

### 決定額の考え方

農作業分業化プロジェクト推進事業費の委託業務に組み込んで実施することとし、本事業としては計上を見送ります。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- 「ぎふ農業・農村基本計画」

第5章 政策の方向性

- ◆ 3つの基本方針に基づく具体的な取り組み

2 売れるブランドづくり

<基本施策> (5) 大消費地における県産農畜水産物の販路拡大

[高品質・ブランド価値向上]

ほうれんそう、えだまめ、夏秋トマトなどの主要品目について、安定的な売り場を確保するため、関西圏、中京圏での市場・流通関係者と連携した量販店等での販売促進活動を実施する。

### (2) 後年度の財政負担

外部委託の受け手の体制整備のため、3年間実施する。

### (3) 事業主体及びその妥当性

産地は複数の市町村を含むため、岐阜県が実施することが妥当である。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	農作業分業化プロジェクト推進事業
補助事業者（団体）	農業協同組合・農業協同組合が出資する団体 （理由） 補助事業終了後、継続して事業化することが期待されるため。
補助事業の概要	（目的） ほうれんそう等の生産量の維持・拡 （内容） 生産拡大を阻害する季節的な重労働等を外部委託により実施することで、労働力不足により生じる律速段階を解決し、一層の生産拡大を図る。  【農産園芸課が直営】 外部委託実施による経営への影響の評価
補助率・補助単価等	定率（1／2以内） （内容） 生産拡大に伴い生じる重労働等の外部委託に係る経費の助成 （理由） 民間企業も農作業の受託が業務化しておらず、ノウハウが蓄積されておらず割高であるため。
補助効果	外部委託の活用によりほうれんそう等の作付面積が拡大する。
終期の設定	終期 令和5年度 （理由） ノウハウの蓄積は単年度では困難であり、継続的に試行することで、農業者は外部委託のベストな活用方法がみいだすことができ、ノウハウを産地全体や他品目に波及することができるため。

### （事業目標）

・外部委託が積極的に活用され、ほうれんそう等の作付面積の低下に歯止めがかかる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R元年度末)	目標 (R5年度末)	目標 (終期)
① ほうれんそうの作付面積 (ha)	807	807	807
② いちご	35	35	35
③ えだまめ	125	125	125

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 千円
指標①目標					
指標①実績				(推計値)	(推計値)
指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

--

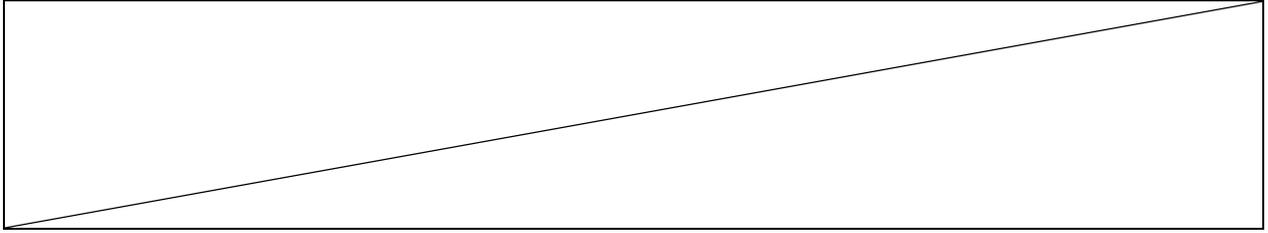
(今後の課題)

- ・ より効率的・効果的な外部委託の活用について検討する。
- ・ 外部委託先の選択・活用が平易になるよう窓口の整備。

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い     △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)	○ 作業の外部委託は限られた労働力を有効に活用するため重要であるにもかかわらず、受け手の訂正の未整備等から推進が図られなかった分野であり、一層の少子高齢化に対応するために必要である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている     △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)	

(事業の見直し検討)



(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止  
(理由)

